

「見える」安全活動コンクール応募資料

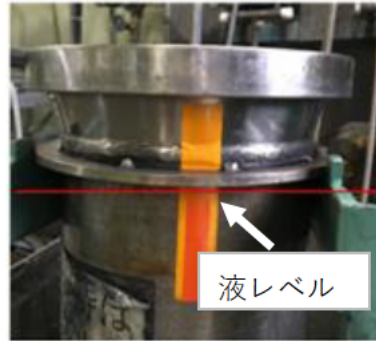
内容量の見える化で腰痛防止と効率化

【写真・資料】

① 空の状態



② 移液途中



③ 総重量約60kg(内容量7kg)



【「見える化」内容・PR】

<対策前>

タンクと台車が一体となっている容器(総重量60kg)に内容物を入れ、秤に載せて計量する作業があり、安全を確保するために2人での作業としていたが、腰痛の危険もあった。

<対策後>

内容物の温度が高い事に着目し、タンク外面に温度センサーシールを貼付け、外側からタンク内の液レベルが分かる様にした。タンク内に全量移液出来た事が確認できるようになり、秤に載せる作業を廃止する事が出来た。